

創刊110周年記念

誇れるふるさと

24地区リレー

〈vol.9〉

〈西宇部② 課題とキーマン〉

入れたてのコーヒーとお菓子を味わいながら世間話に花を咲かせ、ギターの演奏に合わせて昭和歌謡や童謡を口ずさむ。同地区のボランティア団体、よひあい処西ヶ丘が月に1度、西ヶ丘自治会館で開いている「喫茶よひあい処」のこの間、新谷弘昌代表が小気味よいトークで参加者を楽しませる。「出会いの機会をつくる」ことが自分の役目。人間関係の希薄化が進む中、人や地域とのつながりを紡ぎ直す取り組みを進めている。



住民同士のつながり、紡ぎ直す

交流促し、暮らしやすいまちへ

高齢者の仲間づくりや生きがいづくり、孤立化を防ぐと、2011年から開いている。交流の場となる喫茶とは別に、健康寿命の延伸を旨とした総合型地域スポーツクラブの運営や草刈りなどの有償ボランティア、地域の見守り活動にも力を注ぐ。

活動の背景には、高齢化や地域の人間関係の希薄化がある。こうした問題にいち早く対応するため、地区や自治会などで住民間の交流を促進するための行事を開催するなど、安心して暮らせる地域づくりを進めてきた。

高齢者の仲間づくりや生きがいづくり、孤立化を防ぐと、2011年から開いている。交流の場となる喫茶とは別に、健康寿命の延伸を旨とした総合型地域スポーツクラブの運営や草刈りなどの有償ボランティア、地域の見守り活動にも力を注ぐ。

同地区自治会連合会の会長でもある新谷代表は「日頃からの交流が災害時の助け合いにつながる」と力を込める。地域づくりを引っ張る後継者の成り手不足と育成の重要性にも触れ「人のためにやるのではなく、自身が楽しむことが大事」と語る。

同地区コミュニティ推進協議会の朝倉孝吉会長は、高齢者ら買い物弱者の支援の必要性を指摘する。スーパーやドラッグストアなどが点在するJR宇部駅南側に対し、北側は坂道が多い住宅地となっている。11年からコミュニティタクシーの運行などに対応しているが、南北を行き来するための地下通路の傾斜などが高齢者の負担となっている。同協議会が3月に作成したまちづくり計画では▽みんなが暮らしやすいまちづくり▽子どもたちが健やかに育つまちづくり▽健康づくりに取り組むまちづくり▽活力のあるまちづくり▽安心・安全なまちづくりの5本柱を目標に掲げる。自治会、学校、ボランティアなどが連携を図りながら、それぞれの課題解決に向けて取り組んでいる。